

日本学生オリエンテーリング連盟会長
河合 利幸



今年は、トリノオリンピックにサッカーワールドカップと、スポーツの世界的なビッグイベントが続きます。このプログラムが皆さんの手元に届く頃には、トリノオリンピックが開幕していることでしょう。この原稿を書いている時点では、厳しい戦いを経て日本代表選手が続々と決まっています。中には、メダル獲得が期待され、メディアで大きく取り上げられる選手もいます。選ばれた選手たちは、敗れ去った選手の思いと日本中の期待を背負って次の舞台にのぞむこととなります。その重さはきっと相当なものでしょう。人気や知名度、メダル獲得可能性が高ければ高いほど、期待は大きくなるように思います。その重圧に負けることなく、結果を出せるよう祈りたいと思います。

さて、我がオリエンテーリングの場合、残念ながら知名度・認知度が低く、選手が周囲の大きな期待を受けるような機会は少ないと言わざるを得ません。そのような中で、インカレはオリエンテーリング界の中でも希少なイベントの一つと言えます。学内あるいは地区セレクションを勝ち抜いた選手は、母校の代表としての期待を背負うこととなります。競技会としての規模こそ違いますが、期待の中で自らの持てる力を出し切る難しさは変わりません。悔いの残らないよう、そして楽しんでほしいものです。

インカレは、昨年度からミドルとロングディスタンス競技の開催時期が変更され、3月はミドルとリレーの組み合わせとなっています。今回はその2回目となり、昨秋のロング同様、WOCが開催された愛知のテレインで行われます。昨夏のWOCをはさんで行われてきた愛知での一連のインカレも今回でひとまず一段落ということになりそうですので、選手権の部だけでなく、一般の部や併設大会参加者、そして観客の皆さんも、競技に応援にと、大会を大いに盛り上げていただきたくお願い申し上げます。

最後になりましたが、仕事や育児、勉学の忙しい合間を縫って準備を進めていただいた実行委員会とその関係者の皆さん、本当にご苦勞様でした。そして地元関係者の皆様には、様々な面でご協力をいただき本当に有り難うございました。主催者の日本学連を代表して、厚く御礼申し上げます。

日本学生オリエンテーリング連盟幹事長
高橋 元気



年度の総決算とも言える、インカレミドル&リレーが今年も無事に開催されることを嬉しく思います。これも一重に、インカレ実行委員会を始めとする関係者の皆様のご尽力のお陰であると思います。加盟員を代表しまして、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、インカレの舞台は再び愛知です。皆さんにとっても、昨年のインカレロングやWOCの記憶はまだ新しいのではないのでしょうか。思えば、僕が1年の時の春のインカレも愛知でした。こうして振り返ってみると、愛知には本当に何度もお世話になった気がします。そこで、皆さんにも考えて頂きたいことなのですが、このように他人の土地に何度も出入りさせて頂く事は、地元の方々のご理解と協力なくしては決してあり得ないことだと思います。オリエンテーリングは他人の土地に入っていくスポーツです。そのことを念頭に置き、地元の方々に対する感謝の気持ちを常に忘れないで欲しいと思います。

インカレミドルの始まりであるショートインカレは、「見せる要素を前面に押し出したオリエンテーリング」であるショートディスタンス競技の学生選手権大会を行うために開催されました。その後、日本学生オリエンテーリング選手権ショートディスタンス競技大会(インカレショート)インカレミドルと名称を変え、インカレの1種目として定着しました。そのため、ミドルディスタンスはロングディスタンスに比べ、「見せる」要素が大きくなります。リレーも然りです。皆さん、本番では存分に実力を「見せて」下さい。そして自分が競技をしている時以外は、是非「見る」ことにも力を入れましょう。もちろん、ここで言う「見る」には応援することも含まれます。一生懸命競技をする、一生懸命応援をするといった皆さん一人一人の気持ちこそが、インカレをより一層熱気あふれるものにするでしょう。

それでは、簡単ですが以上を持ちまして幹事長の挨拶とさせていただきます。皆さんとまたインカレで共に競い合えるのを楽しみにしています。熱気溢れるインカレにしましょう！

2005 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門
実行委員長 田島 聖子



いよいよ、2005 年度学生最大の大会である春インカレが開かれようとしています。昨年 8 月の世界選手権を中心とした愛知県での様々なイベント、11 月のロング・ディスタンス競技部門に続き、春インカレも愛知県での開催となりました。この素晴らしいテレインと地図でインカレが開催できますことを大変嬉しく思います。

このインカレを大きな目標としてたくさんの努力を重ねてきた人、クラブの仲間と思い切り盛り上がりた人、また初めてインカレを迎える人から学生生活の最後の締めくくりとして参加する人まで、それぞれが色々な思いを持ってこのインカレに臨んでいると思います。

私自身、一年生から四年生までインカレには毎年参加してきました。努力したことが報われてよい結果が出たことに喜んだり、思いがけない所で失敗して悔しい思いをしたり、クラブの仲間の一生懸命な姿に感動したり、オリエンテーリングというスポーツを通じて様々なことを学ぶことが出来ました。また、森の中で走ることの心地よさを知り、自然を身近に感じるようになりました。この大きなインカレという大会に参加できたことは、学生生活の素晴らしい体験としてこれからもずっと心に残っていくことと思います。

そんな楽しかったインカレを、今の学生の皆さん、後輩達に思う存分楽しんでもらいたいという気持ちで、実行委員会では準備を進めてきました。皆さんの大切な大会を実行委員一同、一緒に楽しみながら盛り上げていけたらと思います。皆さん、どうぞ精一杯走って、応援して、最高のインカレを作り上げていきましょう。

最後になりましたが、このインカレが開催できるのも、地元の皆様をはじめ、多くの皆様方のご理解ご協力あってのことだと思います。関係各位の皆様様に厚く御礼申し上げます。私達がこうして自然と親しみながらオリエンテーリングを続けられることを心から感謝しつつ・・・

岡崎市長
柴田 紘一



「徳川家康公と三河武士のふるさと」岡崎へ、ようこそお越しくございました。

全国各地から、選手・役員の皆様をお迎えして「2005 年度全日本学生オリエンテーリング選手権大会」が盛大に開催されますことは、このうえもない喜びであり、37 万市民を代表して心から歓迎申し上げます。岡崎市は愛知県の中央部に位置し、市内には矢作川、乙川の清流が流れ、三河山地と岡崎平野の接点に位置しております。教育、文化、産業などの調和がとれ、徳川家康公の生誕地として悠久の歴史と伝統を持ち合わせた中心都市として発展してまいりました。岡崎市は隣接する額田町と 1 月 1 日に合併し、新「岡崎市」が誕生しました。今年、市制 90 周年を迎え、歴史と文化のあふれるまちに、豊かな自然に恵まれた地域が加わり、「人、水、緑が輝く 活気に満ちた 美しい都市 岡崎」の実現に向け、37 万市民の夢を乗せ、第一歩を踏み出しました。

新「岡崎市」は、市域の約 6 割を山林が占めるとともに、市域を東西に流れる乙川の水源地を自らが有することになりました。こうした豊かな自然環境は、そこで暮らす人々のためめ努力によって守り継がれ、そして都市活動に欠くことのできない水を供給し、人の心に潤いとやすらぎを与えてくれます。都市地域と水と緑の豊かな山村地域が一つのまちとなることで、その恩恵を最大限に享受するとともに、新市全体で自然環境や歴史的・文化的遺産の保全を行い、後世に引き継ぐことが求められます。

こんな折、自然のなかで、山を駆け登り、野を疾走するオリエンテーリング大会が本市で開催されることは当地の自然の美しさを知っていただく絶好の機会であると思います。選手の皆様には、日ごろの練習の成果を十分に発揮され、すばらしい競技を展開されるとともに交流の輪が一層広がりますことを期待申し上げます。

また、市内には歴史を偲ぶ所も多く、熱戦の後は、ぜひ初春の三河路を満喫していただきたいと思います。

終わりに、選手の皆様には日ごろの鍛えられた成果を十分発揮されますとともに、本大会が成功裏に開催されますことを心からご祈念申し上げ、お祝い

のことばといたします。

新城市長
穂積 亮次



2005 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会が、新城市と岡崎市を会場に全国各地からの皆様をお迎えし、盛大に開催されますことに対し、心から歓迎し、お祝い申し上げます。

ここ新城市は、永い歴史と文化、豊かな緑と日本一きれいな清流豊川に育まれた、自然と文化の宝庫で、本市はこれらの地域資源を活かし「DOS（ドゥ・アウトドア・スポーツ）地域再生計画」を策定し、豊かな自然を活かしたアウトドアスポーツの振興による地域活性化施策に取り組んでおります。

今回開催されるオリエンテーリングは、地図とコンパスを頼りに山林奥深くを駆け巡る、アウトドアスポーツの醍醐味といえる要素が凝縮された競技です。今回、この 2005 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会の開催地に選ばれましたことは、アウトドアスポーツを推進する本市にとって、誠に喜ばしい限りであります。

本日ご参加の皆様には、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮されることはもちろん、オリエンテーリングを通じた友好の輪を広げる思い出深い大会となりますことをご期待申し上げます。

最後に、この大会の開催に際しまして、多大なご尽力をいただきました関係各位に深く敬意を表しますとともに、大会の成功をご祈念申し上げ、歓迎のご挨拶とさせていただきます。

豊田市長
鈴木 公平



2005 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会が、岡崎市と新城市そして本市を会場に全国各地から皆様をお迎えし、盛大に開催されますことを心から歓迎いたしますとともに、お祝いを申し上げます。

豊田市は「クルマのまち」として広く知られていますが、昨年 4 月、周辺 6 町村と合併し、人口 41 万人、面積は 918 平方キロメートルと県内最大で、うち約 7 割を森林が占める緑豊かなまちに生まれ変わりました。

この地域では、こうした豊かな自然の地形を利用して、オリエンテーリング競技が盛んに行われており、昨年 8 月には、アジアでは初となる世界オリエンテーリング選手権大会が開催され、多くの市民が声援を送りました。

このような中、全国からオリエンテーリング愛好者の方々をお迎えして本大会が開催されますことは、この競技に対する市民の関心をさらに高め、本市におけるオリエンテーリング競技の振興に大いに寄与されるものと期待しております。

大会に参加されます皆様には、日頃からの練習の成果を十分に発揮されるとともに、お互いの親睦を一層深め、思い出に残る素晴らしい大会となりますことを願っております。

おわりに、本大会の開催に際しまして多大なご尽力をいただきました関係各位に深く敬意を表しますとともに、本大会の成功をご祈念申し上げ歓迎のことばとさせていただきます。